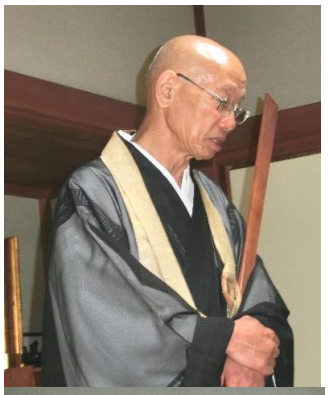
山県の「よさ」を見つけましょう会　　会報　NO，81

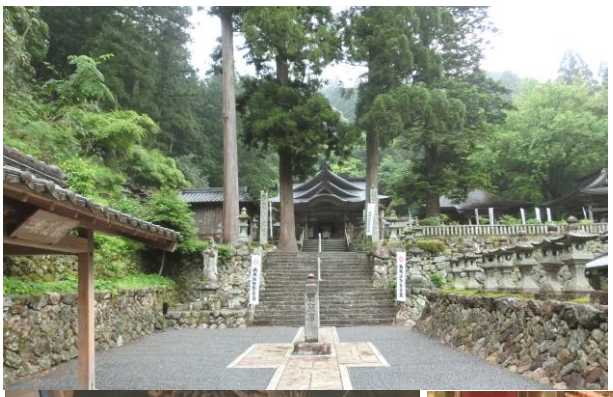
平成２７年５月号　　会長　西村　覺良　（電話・ＦＡＸ　0581-27-2156）

ホームページ開設（http://www.ccn.aitai.ne.jp/~kaku-jun/）（山県の「よさ」を見つけましょう会）

予定を変更して、雨に濡れてしっとりしたたたずまいの甘南美寺、
室町時代の天台宗寺院の建築様式を遺す中本堂、現本堂内部など
釜ケ谷川源流の幻の滝めぐりと違った「よさ」を見つけた！！

参加者　22名
内:会員　20名
　:当日参加2名





人形供養で有名な
中洞の太原寺を
訪ねよう
期日:6月20日
　　9時30分～
講師:太原寺住職様

昨夜半から降り出した雨は５月１６日早朝になっても上がらず。そこで雨ハージョンで予定していた新緑の中にたたずむ甘南美寺を訪れた。

中本堂は、室町時代の天台宗寺院の建築様式を遺すお堂で、５・６年前に復元修復されたもの。丸柱に触れると、風雨にさらされていた部分と屋内の部分の違いに気づく。また須彌壇の本尊様の手には、桑の枝葉や繭がしつらえられていた。

現本堂の奥まで入室させていただき、御本尊様の前で、御前立ちとして祀られている三面八肘の馬頭観音像を間近で拝観した。また八方睨みの龍の下で叩いた拍手の音が大きく響き渡った。その他に幻の滝とは違う沢山のよさを見つけることが出来「恵みの雨？」であったような気がした。